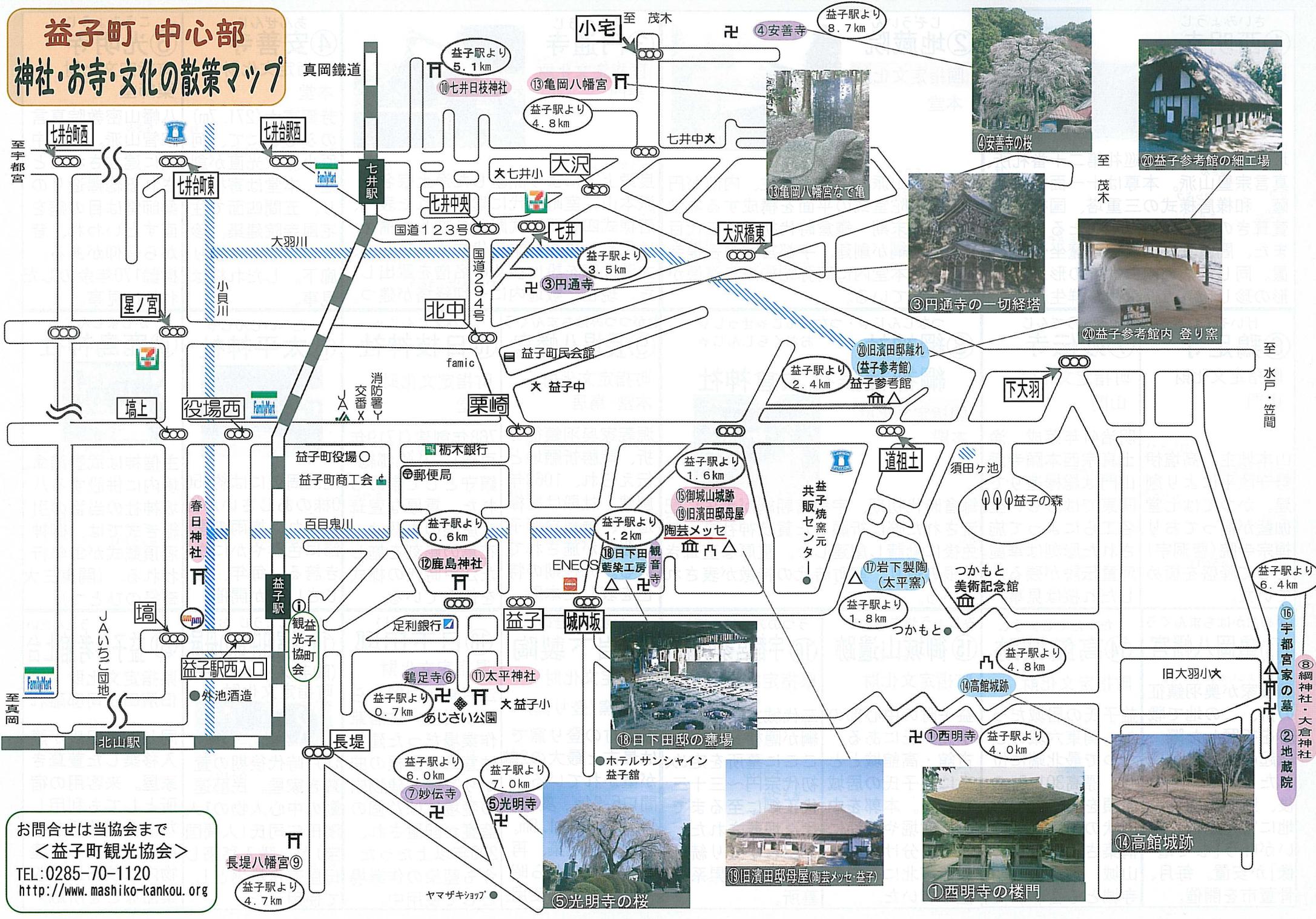


# 益子町 中心部

## 神社・お寺・文化の散策マップ



お問合せは当協会まで  
**<益子町観光協会>**  
 TEL:0285-70-1120  
<http://www.mashiko-kankou.org>

至 水戸・笠間

益子駅より 6.4 km  
 ⑧ 綱神社・大倉神社  
 ② 地藏院

長堤八幡宮⑨  
 益子駅より 4.7 km

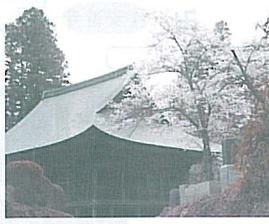
ヤマザキショップ

さいみょうじ  
①西明寺  
国指定文化財  
三重塔・楼門・  
本堂内厨子



坂東三十三所観音巡礼第二十番札所、真言宗豊山派。本尊は十一面観音菩薩。和様唐様式の三重塔、国指定の萱葺きの楼門は威風堂々たるもの。また、閻魔堂には笑い閻魔坐像が安置。同じく敷地内には幹の形が四方形の珍しいシカクダケが群生。

じぞういん  
②地蔵院  
国指定文化財  
本堂



真言宗智山派。側柱が角柱、内部が円柱で阿弥陀堂式の平面を構成する本堂。平安時代末期～鎌倉時代初期に三代目宇都宮朝綱が創建。宇都宮家の菩提寺である。本堂内に阿弥陀如来三尊像が安置されている。

えんつうじ  
③円通寺  
国指定文化財  
表門



良栄上人により開基した浄土宗名越派本山。室町時代に建築された表門、唐様式四脚門形式彫刻を施した構えは見事。また日本三代文庫のひとつ、大澤文庫を設け多くの名僧を輩出した。現在、敷地内に一切経塔が建つ。

あんぜんじ  
④安善寺  
町指定文化財  
本堂

芳賀富士(271.7m)のふもとにて、河原小藤次光直が創建。本堂は寄棟造り、五間四面で住宅風寺院建築。珍しいウグイス張り廊下。しだれ桜は見事。

こうみょうじ  
⑤光明寺  
町指定文化財  
薬師堂

八幡山密教院真言宗智山派。江戸中期に建立されたとされる総檜造りの薬師堂は目の病を直すといわれ、昔から信仰がある。樹齢170年余のしだれ桜は見事。

けいそくじ  
⑥鶏足寺  
町指定文化財  
山門

山本城主、高塩伊勢守政平により創建。かつては七堂伽藍が揃っており、禅宗寺院(曹洞宗)として隆盛を極めていた。

みょうでんじ  
⑦妙伝寺  
町指定文化財  
山門

明治41年落成、浄土真宗西本願寺派。山門は総檜造りで関東では珍しい型、名工らによって施された彫刻は華麗。河童伝説が残る、しだれ桜は見事。

つなじんじゃ・つなじんじゃせつしゃ  
おおくらじんじゃ  
⑧綱神社  
国指定文化財  
本殿



鎌倉時代初期、宇都宮朝綱が土佐に配流された際に祈願した賀茂神社を、赦免後に勧請し創建した。重厚な萱葺き屋根の造り。室町時代の特徴が表されている。

ながつつみはちまんぐう  
⑨長堤八幡宮  
町指定文化財  
本堂・鳥居

源義家奥羽鎮征の折、戦勝祈願地と伝えられ、1063年創建。社殿は総檜造り、華麗な獅子の彫刻が施されている。元禄期の特徴を表した本殿。

ひえじんじゃ  
⑩日枝神社  
町指定文化財  
本堂

768年創建(1719年再建)。八嶋郷総鎮守として崇められた。重厚な萱葺き屋根の本殿は、花鳥の彫刻を施した江戸時代の様式を伝えている。

たへいじんじゃ  
⑪太平神社  
町指定文化財  
本堂



境内周辺には約450株のあじさいが植えられ、梅雨の季節に色鮮やかに咲き誇る。毎年、あじさい祭が開催。

かしまじんじゃ  
⑫鹿島神社  
町指定文化財  
本堂



主催神は武甕槌命。境内に併設する八坂神社の当番の引き継ぎ式では、御神酒頂戴式が毎年行われる。(関東三大奇祭のひとつ)。

かめおかはちまんぐう  
⑬亀岡八幡宮  
町指定文化財

源義家が奥羽鎮征の折、この地で戦勝を祈願した際、縁起の良い亀が現れたという。その後、凱旋後にこの地に宮を創建。願いが叶う[なで亀像]が安置。毎月、骨董市を開催。

たかだてじょうし  
⑭高館城跡  
町指定文化財

益子氏の居城だった。関東六城のひとつで最北端に位置。標高301.8mの山頂を中心に同心円状の多郭方式で構築された中世の山城。別名、西明寺城とも言われた。

みじょうやまいせき  
⑮御城山遺跡  
町指定文化財

益子町の中心部の小高い丘にある。古館・高館城とともに益子氏の居城だった。本郭を中心に空堀や堀切によって分けられ、東西南北に郭を配置していた。

うつのみやけのぼしよ  
⑯宇都宮家の墓所  
県指定文化財

三代城主宇都宮朝綱が隠棲した際、ここに墓所を定め、初代宗門～三十三代正綱に至るまで代々埋葬された。家臣らが守り続けた宇都宮家累系の墓所。

いわしたせいとう  
⑰岩下製陶  
町指定文化財  
太平窯(登り窯)

益子町の登り窯では最古と最大の2基が置かれている。間口5.94m、奥行き18.7m、高さ1.8m。明治16年起築、再築を重ねながら昭和50年頃まで使用。

ひげたてい  
⑱日下田邸  
県指定文化財

江戸時代中期から続く紺屋。住居兼作業場だった建物は萱葺き屋根の曲がり家屋。建物内の養場には72個の藍甕が配置され、200年以上たった今も藍染の作業場として使用中。

はまだしょうじ おもや  
⑲旧濱田庄司の母屋  
町指定文化財



江戸時代後期の萱葺き家屋。民藝運動の中心人物の1人濱田庄司氏(人間国宝)が、購入移築し母屋兼作業場として使用した。

うえんだい  
⑳益子参考館上台  
県指定文化財  
旧濱田庄司邸離れ

同じく濱田氏が購入移築した萱葺き家屋。来客用の宿所としても利用した。今は益子参考館の一部として建物内に濱田氏の収集品などを所蔵。